

札幌圏域の令和7年(2025年)における病床機能別必要量と病床機能報告による病床数

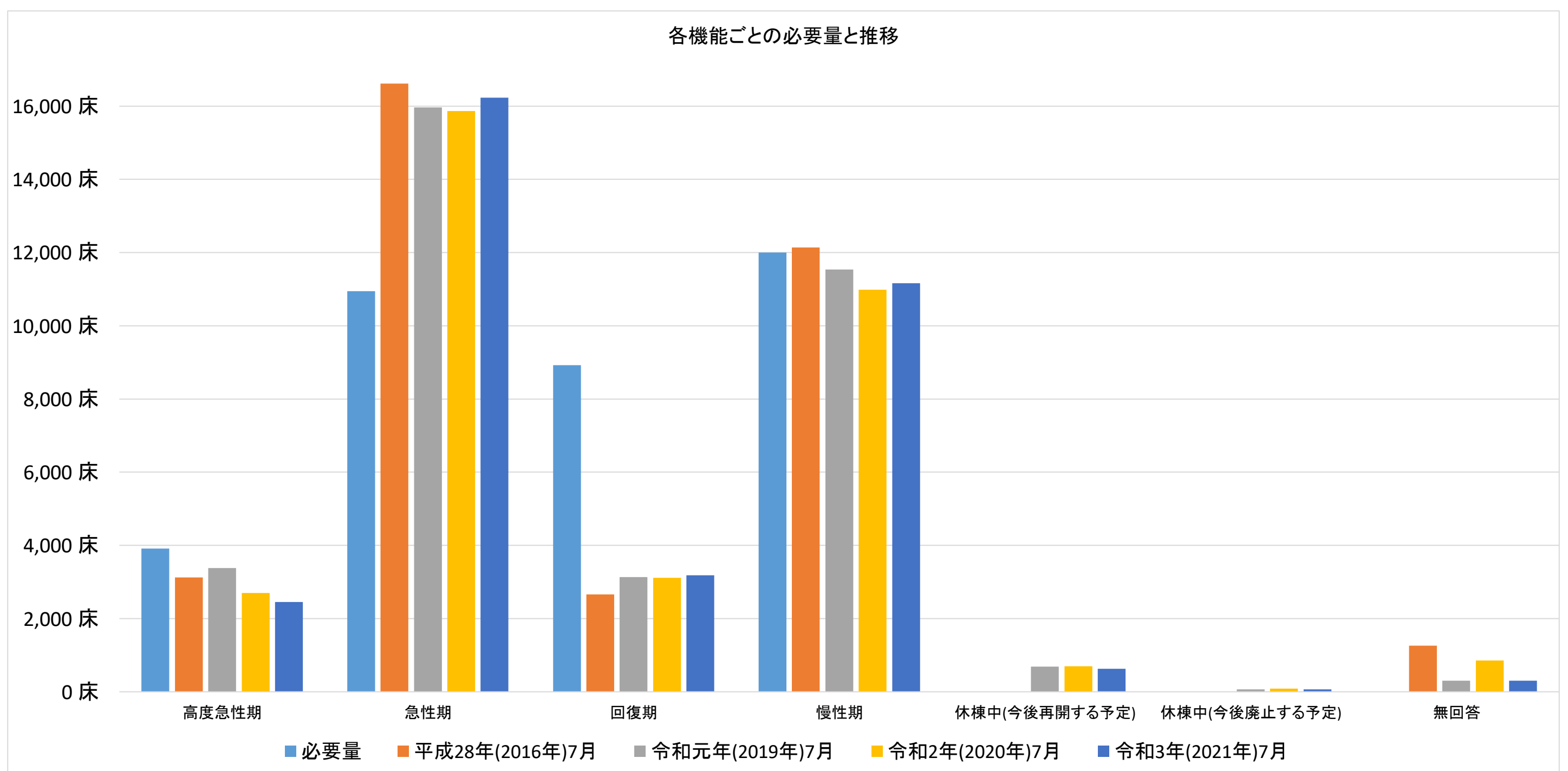
I 必要量

令和7年(2025年)に向けての札幌圏域・病床機能別の必要量 (a)	高急性度期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	3,913 床	10,951 床	8,923 床	11,999 床	0 床	35,786 床

II 病床機能報告の結果

報告年度	高急性度期	急性期	回復期	慢性期	休棟中(今後再開する予定)	休棟中(今後廃止する予定)	無回答	計
平成28年(2016年)7月現在の病床機能報告の結果	3,126 床	16,619 床	2,661 床	12,137 床		1,256 床		35,799 床
令和元年(2019年)7月現在の病床機能報告の結果	3,383 床	15,971 床	3,130 床	11,535 床	683 床	70 床	304 床	35,076 床
令和2年(2020年)7月現在の病床機能報告の結果	2,700 床	15,869 床	3,110 床	10,981 床	698 床	83 床	858 床	34,299 床
令和3年(2021年)7月現在の病床機能報告の結果(確定値) (b)	2,455 床	16,229 床	3,186 床	11,161 床	629 床	65 床	298 床	34,023 床
(参考:11月公表の暫定値)	2,451 床	16,243 床	3,223 床	11,212 床	621 床	66 床	0 床	33,816 床

過不足 ((b)-(a))	高急性度期	急性期	回復期	慢性期	休棟中(今後再開する予定)	休棟中(今後廃止する予定)	無回答	計
	▲ 1,458	5,278	▲ 5,737	▲ 838	629	65	298	▲ 1,763



※ 平成28年(2016年)の「その他」は、無回答に合算している。